

(別紙1)



航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要

整備士養成ワーキンググループ

現状と課題

- 航空会社の整備部門に就職する者の英語能力は、航空会社が求める英語能力を十分に有していない。
- 技術、品質及び整備計画の管理等を行う整備管理従事者について、ノウハウが十分に継承されていない。
- 整備機会が減少している分野等に係る整備士の技量・技能の維持・伝承が必要。

具体的な取組内容

1. 整備士の英語能力向上

- 整備現場でよく使われるセンテンスや間違い易い文章等を具体的に例示したテキスト類の整備
- 平成27年度中にテキスト類の整備を目指し、これを養成機関等における英語教育の現場において活用

2. 整備管理従事者の養成

- いずれの航空会社においても整備管理の基本となる共通的な部分に係るテキスト類の整備(「入門編」「専門編」等に分冊化)
- 平成27年度中に少なくとも「入門編」の整備を目指し、これを整備管理従事者の養成に活用

3. 整備士の技量・技能の維持・伝承

- 整備機会の減少は航空会社各社に共通するものであり、個社が有する知見を共有することが有効
- 技量・技能の維持・伝承に係る一般的手法の「検討」⇒ 各社で「実施」⇒ 得られた知見・課題を各社で「共有」⇒ さらに各社で実施⇒ 必要に応じ「検討」又は「共有」に戻る、といったPDCAサイクルを実践

今後の検討課題

- 国際的・中長期的な視点からの整備士の資格制度のあり方についての検討
- MRO産業の推進を視野に入れた、大学・航空専門学校・工業高校等における整備士養成のあり方についての検討

製造技術者ワーキンググループ

現状と課題

- 世界の航空機市場が今後20年間でほぼ倍増の見通しの中、製造業各社で増産に向けた人員体制増強が必要。高度な安全性要求に対応する質の面での人材育成や新技術に対応する高度人材の育成も必要。
- 設計・開発技術者、生産技術者、技能者の階層ごとに、それぞれ確保・育成が必要。

具体的な取組内容

1. 技能レベル標準化の検討

- 技能分野・役職ごとに共通して必要となるスキル・知識、レベルを設定し、人材育成で一定のレベルを保つことにより、人材育成コストの削減、人材育成基準の明確化、生産性向上といったメリットが生じる
- 技能レベル標準化は、技能認定制度創設に向けての第一歩として位置付けることも可能
- 技能者について人材育成ニーズの高かった、機体構造組立、艀装、電装、塗装等が対象として考えられる
- 中部地域で開催されてきた研究会において、技能者に係る共通のカリキュラム、テキストを作成した
- 設計・開発技術者、生産技術者は、法規・認証・設計開発ツール等に外部教育のニーズあり

2. 技能認定制度の検討

- 技能認定制度により、技能レベルの向上・画一化、人材育成の効率化、製造事業者が求める人材と教育機関が供給する人材のミスマッチ解消等のメリットが期待される
- 技能認定制度新設に対する企業や教育機関のニーズを検討したところ、賛成・反対双方の意見があることと、新設・運用に係る費用負担発生が想定されることから、今後より詳細な調査や掘り下げた検討が必要
- 技能検定制度は一部で活用もされているが、より効果的な運用をするためには航空機産業の実態に合わせた見直しの検討が必要

今後の検討課題

- 技能認定制度の検討: 既存制度の改善や、機体の構造組立技能をモデルとした制度創設の可能性の検討等
- 効率的な人材育成策の検討: 技能レベル標準化のさらなる検討(作成したカリキュラム、テキストの実証)等
- 生産能力増強のための人材育成策の検討 等

裾野拡大ワーキンググループ

現状と課題

- 若年層の航空業界に対する関心が相対的に薄れており、潜在的志願者も十分に掘り起こせていない。
- これまでも個別の企業や団体等による取組は行われているが、今後さらに航空業界全体として連携・協力しつつ航空の裾野拡大に取組む必要がある。

具体的な取組内容

- 1 個別の取組のネットワーク化等による航空業界全体の取組の推進**
 - 航空に係る共通ウェブサイトの創設：航空関連の職業や必要な資格、養成機関等に関する情報を集約
 - 航空関連職業に係るガイドブックやパンフレットの作成、ソーシャルメディア等の活用
- 2 空に親しむ体験を充実させる取組の強化**
 - MRJの工場見学ツアーの実現、開発状況の発信等を期待
 - 「空の日」との連携、空のお祭りやスカイスports等の振興
- 3 女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組**
 - 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会の開催
- 4 初等中等教育における航空への関心を高める取組**
 - 高校の進路指導担当者等への情報提供
 - 「キャリア教育」の取組との連携：出前講座の実施促進、航空の現場を体験する教育機会の提供拡大

今後の検討課題

- 航空関連職種に関する合同就職フェア等の開催
- 航空裾野拡大に関する新たなサービスや企画を行う様々な活動団体への支援活動の実施
- 空港ロビーやラウンジ等における機体やシミュレーター等の設置・展示
- 航空観光の推進：空港訪問者を対象とした空港周辺ツアーの実施等
- 女性向けメディアの活用、女性が働きやすい環境の整備

等